

編集後記

私は今回、初めて歯学部ニュース編集委員を務めさせていただきました。つい最近、歯学部ニュースに原稿を掲載していただいたばかりでしたので、短い期間に執筆と編集、両方の立場を経験することができました。このことから、歯学部の活動をより良く広く知っていただくために、多くの方にご尽力いただいていることを改めて実感しました。

最後になりましたが、御多忙中の執筆依頼にも関わらずご快諾いただいた先生方、学生の皆さんにこの場をお借りして厚く感謝申し上げます。

歯科矯正学分野 大森 裕子

ご多忙の中、執筆をご快諾頂いた先生、学生の皆さまにこの場を借りて深く御礼申し上げます。言語聴覚士として、歯学部ニュースの編集に関わることが出来たのは恐縮の極みでございましたが、大変得難い経験をさせて頂きました。貴重な機会を与えてくださった編集長の土門先生には、心より感謝申し上げます。私は、主に学生の皆さまの原稿を担当させて頂きましたが、その一つ一つが新潟大学歯学部の新たな歴史を彩り、積み上げていく記録のように感じました。この雑誌を手にとられた皆さまのご多幸を心よりお祈り申し上げます。

摂食嚥下リハビリテーション学分野 落合 勇人

この度はお忙しいなか、原稿執筆にご協力いただきました先生、学生の皆さまに感謝申し上げます。今回初めて編集に携わりましたが、この歯学部ニュースが多くの方々のご協力によって出来上がっていることを知ることができました。まだまだコロナ禍が続き、対面での交流の機会が限られていますが、この冊子がお互いを知る機会の一つとなしてほしいと願っています。至らない点が多かったと思いますが、編集に携わることができ大変光栄でした。まことにありがとうございました。

口腔生命福祉学分野 松本 明日香

コロナ禍の序盤に新潟大学に赴任して以来、他分野の活動の情報源として定期的に発刊される広報誌「歯学部ニュース」をいつも楽しみにしております。今回、同誌の編集を担当させていただき、非常に魅力的な広報誌になるようにたくさんの方が貢献されているのを実感しました。今後も「歯学部ニュース」をより一層楽しみをもって拝読させていただこうと思います。最後になりましたが、この度はお忙しい中、原稿の執筆にご協力いただきました皆様に心から感謝申し上げます。

包括歯科補綴学分野 村上 和裕

この度、歯学部ニュース142号の編集長を務めさせていただきました。新型コロナウイルス感染症が世界的に拡大して約3年が経過しました。これまで本誌ではコロナウイルス関連の特集を多く組んでまいりましたが、本号ではコロナ禍以前の記事編成を意識しつつ、3つの特集を組みました。特に、留学特集では海外での充実した研究生活を垣間見ることができました。研究留学に興味を持たれた学生さんも多いのではないかと推察します。原稿執筆に快くご協力いただきました先生方、職員の方々および学生さんに厚く御礼申し上げます。新潟大学歯学部の活動を発信する広報誌として本誌をお役立ていただけましたら幸いです。

微生物感染症学分野 土門 久哲